

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、世界有数の多島美の瀬戸内海や変化に富んだりアス式海岸が続く宇和海、西日本最高峰の石鎚山、日本三大カルストに数えられる四国カルストなど、豊かで美しい自然に恵まれております。

しかしながら一方で、近年、気候変動にともなう豪雨や猛暑、プラスチックごみによる海洋汚染など、地球規模の環境問題が地域に深刻な影響をもたらしており、愛媛県においても、平成30年7月豪雨によって、県内各地に甚大な被害が生じました。

こうした中、本県では、市町や関係機関等と連携した「オール愛媛」体制で、被災地の一日も早い復興に全力を挙げるとともに、愛媛のすばらしい自然環境を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」において、「環境と調和した暮らしづくり」、「自然と共生する社会の実現」、「環境にやさしい産業の育成」を主要政策に掲げ、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築、生物多様性の保全など、各種施策を展開しているところです。

今後とも、これらの取り組みを積極的に進め、県民のかけがえのない財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に努めて参りますので、皆様方の更なるお力添えをお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、多くの方々の環境問題に対する関心と理解が深まり、環境の保全に向けた活動の一層の促進につながりますことを期待申し上げます。

令和元年 12 月

愛媛県知事 中村時広